

提案趣旨書

IV. 地域の活性化に資する施設の導入について 「(仮)夕陽丘ほんわかてらす」の提案

■地域の活性化のために必要な機能に関する考え方

- ・計画地周辺は、都市機能として「地域住民相互を繋ぐコミュニティ活動ツールや生活利便施設」が不足し、また都市空間としては「“ほんわか”した気持ちになれる憩いの空間」が不足しているといえます。
- ・「(仮)夕陽丘ほんわかてらす」は、地域に不足している都市機能、都市空間を提供し、地域の活性化に貢献します。
- ・「(仮)夕陽丘ほんわかてらす」は、計画地の中央に配置され「ライフサポート機能」、「子育て支援機能」、「コミュニケーション機能」を地域に提供します。

「ライフサポート機能」

一階に近隣住民のための生活利便施設を導入し、物販・生活利便サービスを提供すると共に、災害時には物資供給などの防災拠点としても機能します。

「子育て支援機能」

2～3階に託児・保育スペースや多目的スペースを導入し、子育てサービスを提供します。

「コミュニケーション機能」

一階のライフサポートショップ内にインフォメーションコーナーやコミュニティのサロンの空間として利用できる「ほんわかコーナー」を設け、地域コミュニティの交流を誘発します。屋上には“ほんわか”できる空間として自由に利用できる屋上庭園を設け、屋上緑化による環境負荷の低減を図ります。

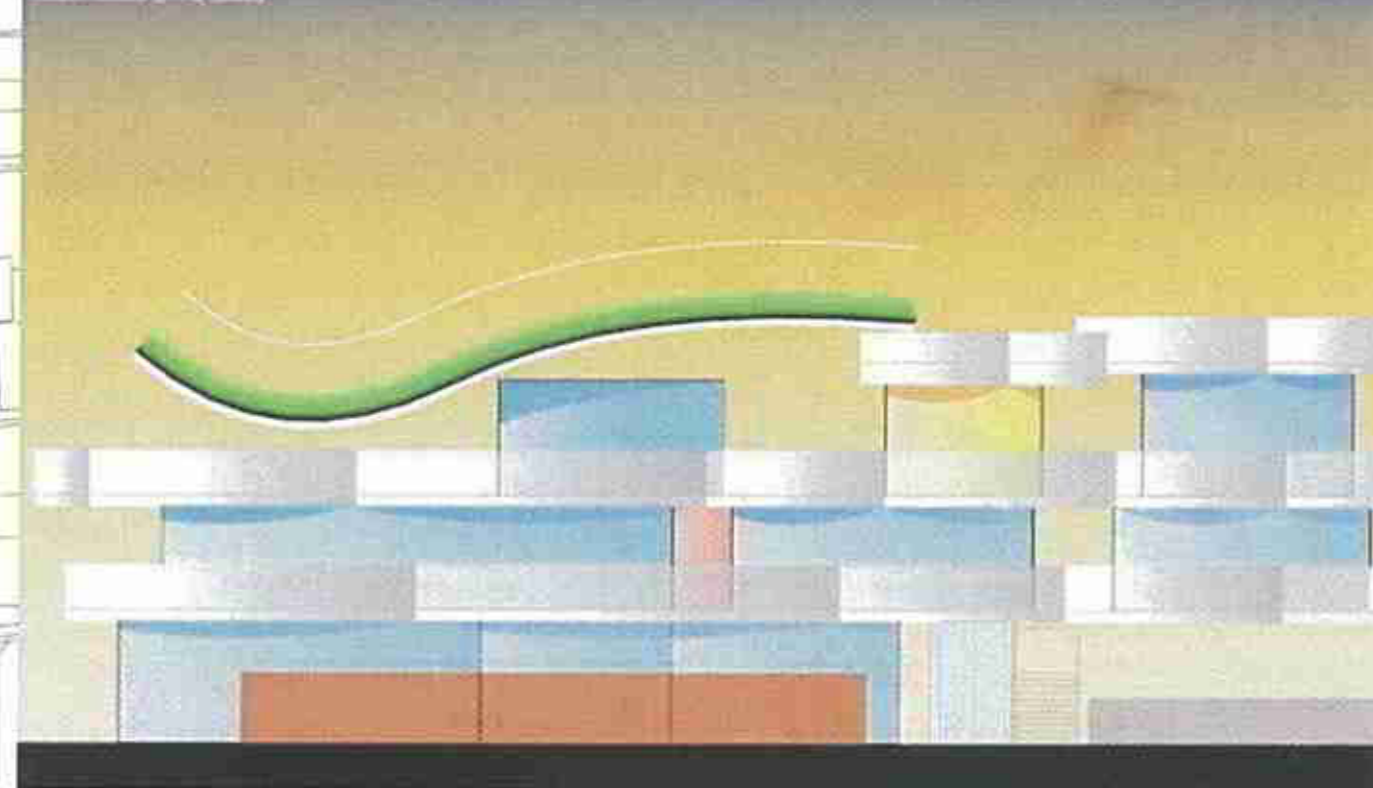
■施設運営に関する考え方

- ・「(仮)夕陽丘ほんわかてらす」は、民間事業者がコミュニティ形成事業として一体開発を行います。
- ・子育て支援、ライフサポートショップなど数社から出店意向を確認できております。
- ・また各テナントが実施する事業だけでなく、イベント活動等のソフト事業も継続的に実施するための運営サポート・トータルプロデュースを行う企業からも既に出店意向を確認できております。
- ・基本的に民間事業者が土地を取得して運営するスキームを考えておりますが、大阪市が土地を所有したまま、定期借地権を設定して事業を行うスキームへの対応も可能です。

■配置図



■立面図

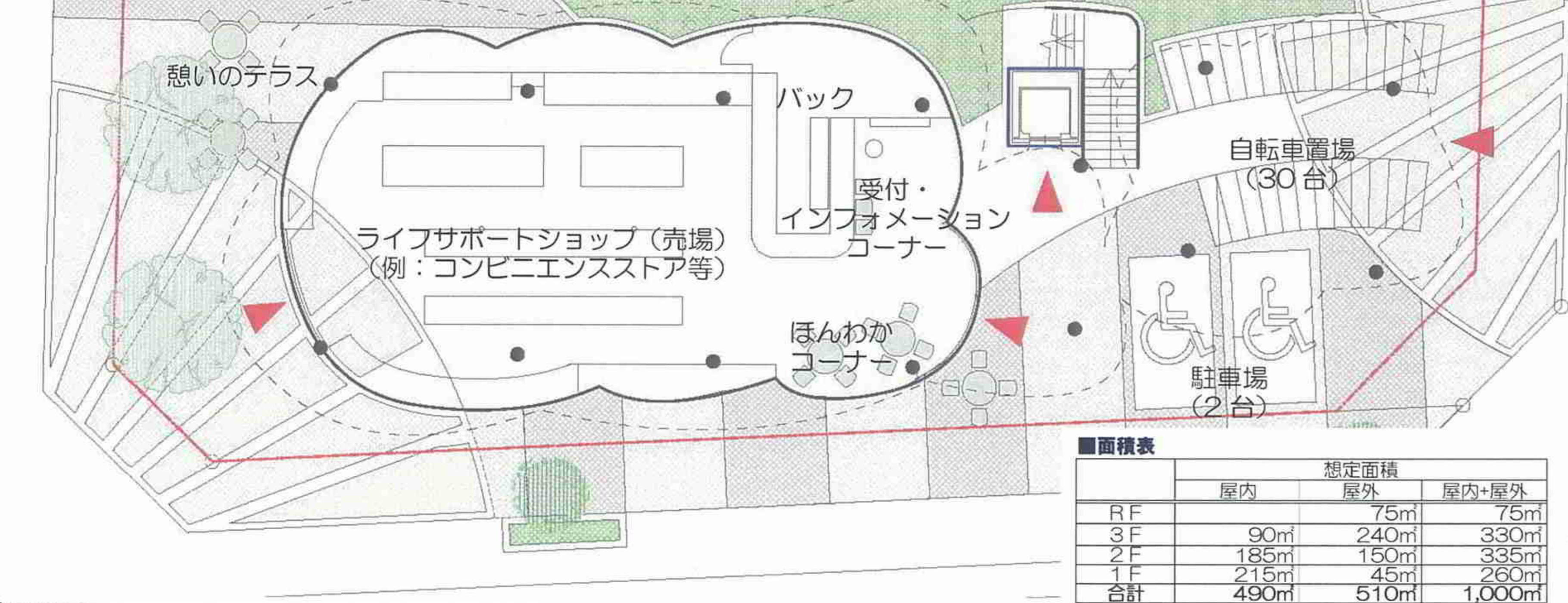


■ゆずり葉の道から

「(仮)夕陽丘ほんわかてらす」を見る



■一階平面図 (S=1/200)



■面積表

	想定面積		
	屋内	屋外	屋内+屋外
RF		75m ²	75m ²
3F	90m ²	240m ²	330m ²
2F	185m ²	150m ²	335m ²
1F	215m ²	45m ²	260m ²
合計	490m ²	510m ²	1,000m ²

■空間構成

芝生のじゅうたん(屋上庭園)

屋上を芝生で緑化し「雲の上を舞う芝生のじゅうたん」に見立て、生活利便施設の一部として利用し、夕陽丘屈指の美しい夕陽を満喫できる舞台を創出します。



雲に見立てたユーモラスで柔らかなデザイン

建物の平面形状は「雲」に見立てた大きくカーブを描いたフロアで構成し、各フロアの屋外テラスは「雲のテラス」として、「ほんわか」する憩いの場利用される計画とします。

「雲の上テラス」イメージ



ゆずり葉の道と一体となった「憩いのテラス」

「ゆずり葉の道」交差点に面してテラスの空間を設け、誰もが気軽に利用できる地域の親しまれる施設とします。

